



平成 19 年 2 月 13 日

各 位

会 社 名 **ダイコク電機株式会社**  
代表者名 代表取締役社長 栢森雅勝  
(コード番号 6430 東証・名証第一部)  
問合せ先 取締役総務部長 伊藤茂年  
TEL(0568)88-7111

## 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 18 年 11 月 13 日の中間決算発表時に公表しました平成 19 年 3 月期(平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日)の業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 連結業績予想の修正

平成 19 年 3 月期通期業績予想数値の修正(平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 18 年 11 月 13 日 発表)	51,300	5,700	3,000
今回修正予想(B)	47,300	5,100	200
増減額(B-A)	4,000	600	2,800
増減率	7.8%	10.5%	93.3%
前期(平成 18 年 3 月期)実績	49,089	6,782	3,495

#### 2. 個別業績予想の修正

平成 19 年 3 月期通期業績予想数値の修正(平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 18 年 11 月 13 日 発表)	48,000	5,900	3,300
今回修正予想(B)	44,100	5,300	800
増減額(B-A)	3,900	600	2,500
増減率	8.1%	10.2%	75.8%
前期(平成 18 年 3 月期)実績	48,452	6,554	3,374

### 3. 業績予想修正の理由

当社グループが携わるパチンコ業界におきましては、平成19年6月をピークとするパチスロ遊技機の新基準機への入替期限が近づく中、顧客であるパチンコホールでは遊技機への投資に備え出店計画が見直され、新店件数が減少しており、第4四半期もそうした傾向が続くものと予想されます。

当社グループは、情報システム事業におきましては、ファン向けに遊技台情報を公開するプレジャービジョンなどの情報公開製品を中心に積極的な提案を引き続き行い、売上高は276億円（前期比5.4%減）、制御システム事業におきましては、第4四半期に予定しておりました機種の内3機種が来期へずれこむこととなり、売上高は172億円（同13.6%減）、アミューズメントコンテンツ事業におきましては、売上高は25億円の見込みとなりました。

また、元気株式会社において、前期より開発しておりました自社ブランドゲームソフトの一部を採算性の観点から開発を中止したため、仕掛品の評価損が発生することとなりました。

元気株式会社の黒字転換の遅れを受けて、10年間の均等償却を予定しておりました「のれん」につきまして、減損損失（21億円）を特別損失に計上することとなりました。

以上により、売上高473億円（同3.6%減）、経常利益51億円（同24.8%減）、当期純利益2億円（同94.3%減）の見込みとなりました。

個別業績予想におきましては、上記により、子会社株式（14億円）の評価損および子会社への貸付金に対する貸倒引当金繰入額（7億円）を特別損失に計上することとなり、売上高441億円（前期比9.0%減）、経常利益53億円（同19.1%減）、当期純利益8億円（同76.3%減）の見込みとなりました。

従いまして、連結・個別の売上高、経常利益、当期純利益は前回予想を下回る見通しであります。

なお、1株当たり配当金につきましては、既に発表しておりますとおり、期末に40円（通期60円）を予定しております。

#### （業績予想に関する注意事項）

業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上